

2024年6月21日

NTTアドバンステクノロジー株式会社

Web上でOTセキュリティ対策の課題を無料でセルフチェックできる 「OTセキュリティクイック診断」を公開

NTTアドバンステクノロジー株式会社(以下:NTT-AT、本社:東京都新宿区、代表取締役社長:伊東 匡)は、OT^{*1}セキュリティパートナーであるフォーティネットジャパン合同会社(本社:東京都港区、社長執行役員:与沢 和紀)からOTセキュリティ簡易診断ツールの提供を受け、当社のWebサイト上に「OTセキュリティクイック診断」として公開しました。

「OTセキュリティクイック診断」では、経済産業省のガイドラインに従った32項目のチェックシートで、組織・運用・技術・サプライチェーンの4つの観点から、工場やビルのセキュリティ対策レベルの概要を無料でセルフチェックでき、現状のOTセキュリティ対策の課題を把握することができます。

NTT-ATは、工場・ビルなどのセキュリティリスクを把握し、それらに応じたセキュリティ対策の実現を伴走型で支援するOTセキュリティアセスメントサービス^{*2}により、お客さまに効果的なセキュリティ対策を提供いたします。

1. 背景

昨今、ビジネスを取巻く環境の変化は著しく、産業分野においてもDX(デジタルトランスフォーメーション)が積極的に推進されています。これに伴い、ITシステムやインターネットとの接続が増えた結果、IT機器だけでなく、工場・ビルで稼働する制御機器がサイバー攻撃の新たな対象として危険視されています。実際に自動車メーカーのサプライチェーン工場がサイバー攻撃の被害を受け、国内の全工場が稼働停止となる事例などが発生しており、業界全体でサイバー攻撃への警戒心が高まっています。

このような状況のなかで、国際的な標準化の動きとして、ISA(国際自動制御学会:International Society of Automation)/IEC(国際電気標準会議:International Electrotechnical Commission)が、産業制御システムのセキュリティ対策の国際標準であるISA/IEC62443を発行しており、国内では、経済産業省 産業サイバーセキュリティ研究会 工場サブワーキンググループにおいて「工場システムにおけるサイバー・フィジカル・セキュリティ対策ガイドライン」が2022年11月に、ビルサブワーキンググループにおいて「ビルシステムにおけるサイバー・フィジカル・セキュリティ対策ガイドライン第2版」が2023年4月に発表されました。

今後、産業制御システムを使用している製造業やビルメンテナンス業などの企業は、これらのガイドラインに従って、セキュリティ対策を行っていくことが必要になります。

しかしながら、ガイドラインの実施範囲は当事者の判断であり、さらに、セキュリティリスクの把握や、効果・コストなどへの考慮も必要なため、セキュリティ対策を独力で検討するのは困難です。

2. OTセキュリティクイック診断について

・セルフチェックは、お客さまの業種と従業員数を選択するだけの2ステップで開始することができ、15分程度で回答可能です。

・経済産業省「工場システムにおけるサイバー・フィジカル・セキュリティ対策ガイドライン」のチェックリストに基づいて、32項目の質問に選択式で回答することで、セキュリティ対策レベルの概要を把握することができます。

・診断後、その場で診断結果を確認することができます。セルフチェック結果を参考にお客さまご自身で、またはNTT-ATにご相談いただき、OTセキュリティ対策の強化に取り組むことが可能です。

本診断は「工場システムにおけるサイバー・フィジカル・セキュリティ対策ガイドライン」を基準に作成しております。

その場でスグに結果が分かる!

自社分析から今必要な対策がわかる!
OTセキュリティクイック診断

スタート >

診断結果

グラフはOTセキュリティ対策のスコアを表示しています。
グラフの色が大きいほど大きいほど、OTセキュリティ対策が実行されていることを示します。

総合評価	評価	スコア
 工場システムサプライチェーン管理	B	68%

対策状況としては平均的といえる。組織・運用面での課題が多く、経営意思によってセキュリティの改善と業務との両立に課題がある可能性がある。対策面では良い状態になっているが、中身の徹底状況の変化を考えるとさらなる対策の強化が求められる。

組織的対策	評価	スコア
ほとんどの必要な対策が実施され、手順が文書化されている。システムも十分保護できており、継続的な改善がなされている。	A	80%

運用的対策	評価	スコア
ほとんどの必要な対策が実施され、手順が文書化されている。システムも十分保護できており、継続的な改善がなされている。	B	60%

技術的対策	評価	スコア
ほとんどの必要な対策が実施され、手順が文書化されている。システムも十分保護できており、継続的な改善がなされている。	C	40%

工場システムサプライチェーン管理	評価	スコア
ほとんどの必要な対策が実施され、手順が文書化されている。システムも十分保護できており、継続的な改善がなされている。	D	10%

「OTセキュリティクイック診断」スタート画面
<https://www.ntt-at.co.jp/product/ot-asses/>

3. 今後の予定

NTT-ATは、工場・ビルなどのセキュリティ対策を支援するため、サービスラインナップの拡充を進める予定です。

*1 OT:Operational Technologyの略。
産業オートメーションおよび制御システムのコンポーネントなどのシステムやその技術

*2 OTセキュリティアセスメントサービス:
これまでIT向けに提供してきたセキュリティアセスメントやフォレンジックなどのノウハウを応用し、工場やビルの状況に合わせて、個々のお客さまにとってどのようなセキュリティ対策が必要なのかを分かり易くする産業分野向けサービス
<https://www.ntt-at.co.jp/product/ot-asses/>

※本文中に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
※掲載のデータは発表日現在の情報です。予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。

本件に関するお問い合わせ先

■NTT アドバンステクノロジー株式会社

【商品に関するお問い合わせ先】

セキュリティ事業本部

セキュリティプラットフォーム高度化ビジネスユニット

OT セキュリティアセスメントサービス担当

<https://www.ntt-at.co.jp/product/ot-asses/>

【報道関係のお問い合わせ先】

ビジネス推進部

コーポレート・コミュニケーション部門

担当:加藤・根本

